

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 外国語

科目 英語コミュニケーションI（普通科）

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションI（普通科） 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ E 組

教科担当者： （A組：保科 （B組：山崎 （C組：保科 （D組：橋口 （E組：山崎

使用教科書： （ BLUE MARBLE English Communication I 数研出版 ）

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声・語彙・表現・文法・言語の働き等の理解を深め、これらの知識を用いて読む、聞く、話す、書くことによる実際のコミュニケーション場面において目的や場面、状況に応じて適切に活用できる知識・技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的話題や社会的話題について外国語で情報・考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図等を的確に理解し、これらを活用して適切に表現しあったりする力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションI（普通科） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・外国語の4技能5領域について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けることができる。 ・外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解することができる。	・場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語での確に理解したり適切に伝え合ったりすることができる。	・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しつつ、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用し、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話「 や 」	話「 発 」	書					
Lesson1 Friendships in the Digital Age 【知識及び技能】 各Part本文の内容（デジタル時代における友達付き合い）を読み取り、概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり書いたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関連したテーマについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりすることができる。	○指導項目 「デジタル時代における友だち作り」 ・SV / SVC / SVO / SV00/ SVOC / There is [are] ○使用教材 ・教科書 ・授業プリント等 ・ワークブック ・Ready to present ・システム英単語Basic ○一人1台端末の活用した4技能を育成する授業を行う。		○	○	○	○					12
Lesson 2 Expos: Past, Present, and 【知識及び技能】 各Part本文の内容（万博とその開催意義）を読み取り、概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり書いたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関連したテーマについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりすることができる。	○指導項目 「万博における日本の関わりと、未来の万博の役割」 ・現在[過去]完了形・完了進行形 ○使用教材 ・教科書 ・授業プリント等 ・ワークブック ・Ready to present ・システム英単語Basic ○一人1台端末の活用した4技能を育成する授業を行う。		○	○	○	○					12
定期考査	「知識・技能」「思考・判断・表現」の達成度を確認する。	○	○			○					1
1 学 期 Lesson 3 The Fascinating World of a Professional Storyteller 【知識及び技能】 各Part本文の内容（講談と旭堂南春）を読み取り、概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり書いたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関連したテーマについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりすることができる。	○指導項目 「1人のアメリカ人女性を魅了した日本の伝統話芸の世界」 ・used to do / could / 助動詞を含む受動態 (can be done / will be done) ○使用教材 ・教科書 ・授業プリント等 ・ワークブック ・Ready to present ・システム英単語Basic ○一人1台端末の活用した4技能を育成する授業を行う。		○	○	○	○					10

Lesson 4 Changing Behavior in Unique	○指導項目 「人々の行動をよい方向に変えるための「仕掛け」とは」 ・使役動詞+O + do / S + V + O + to do ○使用教材 ・教科書 ・授業プリント等 ・ワークブック ・Ready to present ・システム英単語Basic ○一人1台端末の活用した4技能を育成する授業を行う。	○	○	○	○	【知識・技能】 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料, 本文の論理展開を理解している 【思考・判断・表現】 各Part 本文の内容(仕掛けとソーシャルデザイン)について, 学習した語句や文法事項を用いて, 自分の意見を話したり, 書いたりしている。また聞き取った内容に関して話し合ったりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文に関連したテーマについて、「読む」「聞く」を通して事実や自分の考えを整理して話したり, ペアで話し合ったりしている。また学習した語句や表現を用いて書いたりしようとしている。	○	○	○	10
Lesson 5 A Journey to Peace	○指導項目 「ルワンダ大虐殺を生き延びた1人の女性の物語」 ・知覚動詞+ O + do / 知覚動詞+ O + 分詞/使役動詞+ O + 分詞/S + V + if ~ ○使用教材 ・教科書 ・授業プリント等 ・ワークブック ・Ready to present ・システム英単語Basic ○一人1台端末の活用した4技能を育成する授業を行う。	○	○	○	○	【知識・技能】 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料, 本文の論理展開を理解している 【思考・判断・表現】 各Part 本文の内容(ルワンダ内戦とマリールイズ)について, 学習した語句や文法事項を用いて, 自分の意見を話したり, 書いたりしている。また聞き取った内容に関して話し合ったりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文に関連したテーマについて、「読む」「聞く」を通して事実や自分の考えを整理して話したり, ペアで話し合ったりしている。また学習した語句や表現を用いて書いたりしようとしている。	○	○	○	10
定期考査	「知識・技能」「思考・判断・表現」の達成度を確認する。	○	○	○	○	筆記テスト及びリスニングテストを実施する。	○	○	○	1
Lesson 6 Humans Evolve with	○指導項目 「(測る)という行為を通して人類の進化の歴史をひも解く」 ・関係代名詞の継続用法 ○使用教材 ・教科書 ・授業プリント等 ・ワークブック ・Ready to present ・システム英単語Basic ○一人1台端末の活用した4技能を育成する授業を行う。	○	○	○	○	【知識・技能】 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料, 本文の論理展開を理解している 【思考・判断・表現】 各Part 本文の内容(単位の歴史)について, 学習した語句や文法事項を用いて, 自分の意見を話したり, 書いたりしている。また聞き取った内容に関して話し合ったりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文に関連したテーマについて、「読む」「聞く」を通して事実や自分の考えを整理して話したり, ペアで話し合ったりしている。また学習した語句や表現を用いて書いたりしようとしている。	○	○	○	14
Lesson 7 Bio-logging Discovering Animals' Secrets	○指導項目 「野生動物の秘密に迫るバイオロギング」 ・関係副詞 (when / where / why / how) ○使用教材 ・教科書 ・授業プリント等 ・ワークブック ・Ready to present ・システム英単語Basic ○一人1台端末の活用した4技能を育成する授業を行う。	○	○	○	○	【知識・技能】 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料, 本文の論理展開を理解している 【思考・判断・表現】 各Part 本文の内容(バイオロギング研究)について, 学習した語句や文法事項を用いて, 自分の意見を話したり, 書いたりしている。また聞き取った内容に関して話し合ったりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文に関連したテーマについて、「読む」「聞く」を通して事実や自分の考えを整理して話したり, ペアで話し合ったりしている。また学習した語句や表現を用いて書いたりしようとしている。	○	○	○	14
定期考査	「知識・技能」「思考・判断・表現」の達成度を確認する。	○	○	○	○	筆記テスト及びリスニングテストを実施する。	○	○	○	1
Lesson 8 What to Do with Too Many	○指導項目 「(オーバーツーリズム)とは何か, そしてその解決策を考える」 ・仮定法過去 / 仮定法過去完了 / I wish ~ / as if ~ ○使用教材 ・教科書 ・授業プリント等 ・ワークブック ・Ready to present ・システム英単語Basic ○一人1台端末の活用した4技能を育成する授業を行う。	○	○	○	○	【知識・技能】 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料, 本文の論理展開を理解している 【思考・判断・表現】 各Part 本文の内容(オーバーツーリズム)について, 学習した語句や文法事項を用いて, 自分の意見を話したり, 書いたりしている。また聞き取った内容に関して話し合ったりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文に関連したテーマについて、「読む」「聞く」を通して事実や自分の考えを整理して話したり, ペアで話し合ったりしている。また学習した語句や表現を用いて書いたりしようとしている。	○	○	○	10

